

8/11(日)~8/13(火)
2泊3日!

国境離島・対馬で
SDGsを学ぶ



令和6年度対馬グローバル大学 SDGs実践塾

「自分」と「対馬」と「世界」の未来を考える3日間



豊かな自然と固有の文化・歴史をもつ国境離島・対馬。人口急減による限界集落化や過疎などの地域課題、海洋プラスチックごみ、気候変動の影響といった世界規模の問題が絡み合う課題先進地でもあります。そんな対馬では、自身のスキルを活かして、熱い想いを胸に課題解決に取り組む人たちがたくさんいます。そうした方の取り組みや想いを現場で体験し、参加者同士の学び合いを通じて自分のスキルや好きなことを活かした「持続可能なしまづくり」のための「SDGsマイアクションプラン」を考えます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、誰もがいつまでも幸せに暮らせる地球を作るための世界共通の道しるべです。実践塾では、現地体験とともに、このSDGsを手がかりに「持続可能なしまづくり」を考えます！

Day1
【8/11】

Day2
【8/12】

Day3
【8/13】

- 島内観光
- 開塾式(13時 開始予定)
- 実践家による講義
- フィールド散策
- グループワーク
- ウェルカム交流会

- レクチャー
- フィールド実習
- グループワーク

- プランまとめ作業
- プラン発表会
- 修了式(12時 終了予定)

フィールド実習では、実践家の方のレクチャーを受けながら、社会・環境課題の現場体験などに取り組みます！(詳細は裏面参照)

※上記のプログラム(予定)につきましては、変更の可能性があります。予めご了承ください。
※島外参加者のご来島は、8/11(日)0:05 博多港発、7:00 対馬厳原港着の九州郵船フェリーをご利用ください。
※島外参加者のお帰りは、8/13(火)15:40 厳原港発、20:25 博多港着の九州郵船フェリーをご利用ください。
※長崎空港経由でのご来島及びお帰りを検討している方につきましては、必ず事前にご相談ください。



- 日程：2024年8月11日(日)~13日(火)の2泊3日
 開催地：長崎県対馬市上県町志多留地区 ※宿泊:長崎県立対馬青年の家(対馬市峰町三根1186)
 対象：高校生、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生
 公募数：高校生19名程度(島内高校推薦枠17名程度・島外公募枠2名程度)
 大学生等8名程度
 参加費：島内高校生 4,500円(食費相当額)
 島外高校生及び大学生等 5,500円(食費相当額・保険料)
 ※自宅~対馬間の交通費は自己負担、対馬市内の移動・宿泊費無料
 その他：参加者には市長名で対馬グローバル大学修了証書を授与します。

お申込方法

お申込みはQRコードから！
申込期限：7月12日(金)



※島内高校生は学校経由でお申込みください。

プログラム内容

Day1【8/11】

対馬の魅力や現状、課題を知ろう

○島内観光

※来島後、送迎バスで、観光しながら志多留に向かいます。

○開塾式(13時～)

○基礎レクチャー

【担当】対馬グローバル大学事務局

講義を通じて、対馬の現状・課題や実践塾の目的を確認します。

○実践家によるレクチャー

【講師】川口 幹子 さん

実践塾のフィールドとなる志多留地区を拠点に教育、観光、環境保全などさまざまな分野で地域活性化につながる取り組みを行っている川口講師からお話を聞き、持続可能な社会をつくるための実践のあり方や考え方を学びます。



○フィールド散策

川口講師の案内で志多留地区を散策します。森里海がつながる生活環境や地区の歴史のほか、地域課題(耕作放棄地、海ごみ、空き家等)や川口講師の取り組み現場を見学し、翌日の実践活動のイメージをつかみます。



○グループワーク

1日目の学びを振り返りながら、SDGsマイアクションプランのテーマを考えていきます。



○ウェルカム交流会

宿舎で夕食会を開催します。

Day2【8/12】

実践的に学び、アクションプランを考えよう

○実践活動&レクチャー

川口講師の取り組み現場で、体を動かしながら「しまづくりのリアル」を体験します。活動に関連した座学形式のレクチャーも行います。

活動① 海洋漂着ごみ清掃

対馬は世界的な漂着ごみのホットスポットで、特に志多留地区を含む西海岸にはプラスチックなど多くの漂着ごみが流れ着きます。

ここでは、実際に漂着ごみの清掃体験に取り組みます。レクチャーでは、対馬の漂着ごみの現状や回収、リサイクルの取り組みなどについてご紹介します。



活動② 空き地の開墾・整地

志多留地区では、高齢化と人口減少が進み空き家・空き地や耕作放棄地の増加が課題となっています。

川口講師は、放課後の子どもたちの居場所づくりのために学童保育の取り組みを行っていて、志多留地区においても、耕作放棄地や空き家・空き地を活用して、子どもたちが農業体験や自然体験できる学童保育の開墾を目指しています。ここでは、農業体験で利用する二ワトリ小屋をつくるための空き地の開墾・整地等に取り組みます。



○グループワーク

実践活動やレクチャーを踏まえて、「持続可能なしまづくりとは何か?」「自分たちにできることは何か?」を具体的に考え、SDGsマイアクションプランを練り上げていきます。

Day3【8/13】

アクションプランを発表しよう

○発表会・講評

SDGsマイアクションプランを塾長(対馬市長)や川口講師、行政職員に発表し講評を受けます。また、ほかの受講生のプラン発表も聞いて、積極的に意見や感想を出し合います。



○修了式(12時終了予定)

※終了後、送迎バスにて厳原港へ移動します

講師プロフィール



川口 幹子 氏

(一般社団法人対馬里山繋ぎ塾 代表理事)

1979年、青森県青森市生まれ。北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻博士後期課程修了(環境科学博士)。日本学術振興会特別研究員、東北大学大学院生態適応グローバルCOEフェローを経て、2011年6月に地域おこし協力隊(対馬市島おこし協働隊)として対馬に着任。任期終了後も対馬に残り、市の環境・教育等に関する施策立案の支援事業に従事する傍ら、対馬グリーン・ブルーツーリズム協会の事務局を担い、農林漁業体験民宿を軸とした都市と農村の交流促進に取り組んできた。2018年、一般社団法人対馬里山繋ぎ塾を設立。2020年には旅行業登録を果たし、エコツーリズム、スタディーツーリズムの企画販売を行っている。

対馬里山繋ぎ塾
ポータルサイトはこちら



対馬グローバル大学

対馬グローバル大学では、オンラインで対馬にまつわるweb講義を配信中です!実践塾参加者は、いつでも視聴できます!

対馬グローバル大学
ポータルサイトはこちら



※宿舎(青年の家)～志多留間はバスで移動します。
※画像は過去の実践塾の様子です
※内容は参加人数や状況により変更する場合があります。